

# Release Notes

NITRO-SDK

2005/08/22

任天堂株式会社

Version: NitroSDK-2.2

## 本パッケージについて

本パッケージはニンテンドーDS（開発コード NITRO）のアプリケーションを開発するための基本ライブラリセットです。NITRO のアプリケーションの開発効率を高めるためにさまざまな API が用意されて、ハードウェアレジスタを抽象化し、視認性の高いソースコードを作成するお手伝いをいたします。またメモリや割り込みなどのシステムリソース管理の標準的な機構をご提供いたします。

## パッケージに含まれるもの

- NITRO-SDKライブラリ（グラフィックス・OSシステム サブプロセッサ用コンポーネント etc）
- オンライン版関数リファレンスマニュアル
- NITRO機能別デモプログラム
- 開発ターゲットの切り替えを統合したmakeシステム

## 変更点について

NITRO-SDK 2.2 までにリリースされた個々のパッケージでの変更点については、オンライン関数リファレンスマニュアル中の「NITRO-SDK2.2までの変更履歴」の頁をご参照ください。

主だった変更箇所は以下の通りです。

- MB ライブラリで、DS ダウンロードプレイの子機プログラムへ最大32バイトのユーザ定義拡張パラメータを送信する機能を追加しました。
- WM ライブラリの通信処理全体にいくつかの修正を行いました。
- CARD ライブラリが 512kb EEPROM および 256kb FRAM バックアップデバイスに対応しました。
- Makefile を用いたビルドを行う際の #include のサーチパスに、#include を呼び出したファイルのあるディレクトリも含めるように変更しました。
- MATH ライブラリに、高速フーリエ変換を行う関数を追加しました。
- DS ダウンロードプレイの子機プログラムでも 8MB のデバッグ用メインメモリ拡張領域を使用できるように、制限を廃止しました。
- RTC ライブラリに、日付・時刻データと総経過秒・総経過日数との相互変換関数を追加しました。
- WM ライブラリの省サイズ化のために、KeySharing 関連の各関数の仕様を変更しました。また、KeySharing 機能は今後廃止予定となり、ドキュメントにもその旨を追記しました。以降は同様の機能を持つ DataSharing 関連の各関数を代わりにご使用いただくようお願いいたします。
- その他、既存の各ライブラリに修正および機能追加を行いました。